

## 練馬区学童野球連盟 大会開催・期間中の感染予防対策の施策

### ★各チーム選手・監督コーチ、スコアラー、給水担当

1. 自宅を出る際に検温を行い、発熱(37.5℃以上)、風邪症状、だるさ・息苦しさ、味覚症状などの有無等を確認し、大会本部に健康チェックシートを試合ごとに提出する。症状が有る場合は出場(チーム)を取りやめる。また、同居の家族や親近者に新型コロナウイルス感染が疑われる場合も同様とする。
2. 試合会場に着くまでおよび会場内(試合開始前待機中など)はマスクの着用を義務付ける。
3. 人との距離をある程度確保し、ベンチ内でも距離を保つようにする。
4. 試合前、試合中、試合後は、円陣・声出し・応援を行わない。
5. 試合開始30分前に集合し、待機中のミーティング、更衣、食事を禁止する。試合終了後は、速やかにグラウンド外に出て帰る準備をする。
6. 試合登録選手のグラウンド内でのマスク着用は任意とする。監督およびベンチ内のスタッフは全員着用とする。
7. ハイタッチ、グータッチなどの肌が触れ合う行為は禁止する。
8. バットは、一巡を目途に消毒をする。バッティング手袋を使用しないときは使用前に消毒する。
9. ベンチ外の応援は密集・密接にならないようにし、大声の応援も行わない。
10. チーム共用のジャグの使用を禁止する。
11. 試合中の審判へのお茶出しは行わない。
12. 大会中においてチーム内で感染が発生した場合には、チーム活動の停止と大会出を中止とする。
13. 試合後2週間以内に万が一感染症を発症した場合、連盟に濃厚接触者の有無等を報告する。
14. 施設内における唾、痰を吐く行為を厳禁とする。

### ★大会運営側の対応

1. チームから提出された『大会参加者 健康チェックシート』の確認を行う。  
また、試合チームから『来場者 健康チェックシート』を受け取り確認を行う。
2. 大会運営者、審判員は本部席にある健康チェックシートへの記入を行う。
3. 試合会場に消毒液を常備する。(連盟準備)
4. 試合間のインターバルを通常より長く設ける。
5. 大会運営は、慣例・慣習にとらわれずに試合に影響がない事項では密集を避ける。
6. 感染者発生の報告を受けた場合、大会本部経由で練馬区体育協会に報告し、二次感染防止を徹底する。
7. 審判クルー、記録員、控え審判はマスクを着用する。
8. 先行、後攻を決める際、選手同士の握手は行わないようにする。
9. 試合開始、終了の整列、挨拶については、ベンチ前で行う。  
また、終了後の他チームへのエール交換は行わせないようにし速やかにグラウンド外に出るよう誘導する。
10. 大会期間中に新型コロナウイルス感染者がチーム内及び大会関係者に出た場合は協議の上、大会を中止とする。